

# も の づ く り 探 訪 12

今月は  
庄内みどり農業協同組合



本所

産業クラスター創造事業  
さかた技術者ネットワーク構成員

庄内みどり農業協同組合  
営農販売部 園芸課  
佐藤 進さん(右側)  
経済部 みどり販売課  
堀 義昭さん(左側)



平成22年6月に設立された「さかた技術者ネットワーク」。市内企業の若手技術者で構成されるメンバーが、企業が持つ優れた技術力や製品を紹介します。

組合員の生活向上のために

佐藤 庄内みどり農業協同組合（JA庄内みどり）は、平成6年に酒田飽海地区の8つの総合JAが合併して設立。農家が生産した農畜産物を全国の市場や消費地に出荷・販売する業務など、組合員のための諸事業を行っています。

米穀の他の主な取扱品はメロン、イチゴ、庄内柿、和梨、長ネギ、パプリカ、シイタケ、ウルイ、ストック、トルコギキョウなどの園芸特産物。また肥育牛、繁殖牛、酪農、養豚に係る畜産物があります。

米粉用米の販路拡大と商品開発

堀 平成21年5月に酒田市、酒田商工会議所、当JAとで米粉利用推進協議会を設立し、米粉の需要開拓や販路拡大に取り組んできました。直売所、みどりの里山居館内こめ蔵に米粉製粉機を設置、加工した米粉を地元スーパーで販売、また食品製造業者に供給しています。米粉を使った焼きそばをまつだ食品(株)と共同開発し、市内スーパーやみどりの里山居館などで販売しています。

JA庄内みどりは今後も事業活動を通じて、安全、安心な農畜産物を安定的に供給するという役割を着実に実行していきます。

## 庄内米が収穫されてから出荷までの工程



酒田米っこ焼そば  
(当JAで製粉、地元のまつだ食品(株)が製麺)

1 コンバインでの稲刈り  
刈り取りと脱穀を同時に行います



2 カントリーエレベーターで保管  
脱穀した<sup>もみ</sup>籾を乾燥、調製、初すりで玄米で出荷



4 全国に出荷  
取引先や消費者のニーズにあった規格(2キロ<sup>㍔</sup>、5キロ<sup>㍔</sup>、10キロ<sup>㍔</sup>)で袋詰めします



3 精米  
遊佐町の当JA精米センターで玄米を白米にします



### [ 企業の概要 ]

平成6年酒田飽海地区の8つの総合JA (JA酒田市、酒田北部、酒田、酒田市新堀、八幡、遊佐町、庄内平田町、庄内松山)が合併し、庄内みどり農業協同組合を設立。

商号：庄内みどり農業協同組合  
住所：曙町1-1  
代表者：代表理事組合長 阿部茂昭  
組合員数：11,454人  
准組合員数：3,155人  
事業内容：金融、共済、営農指導、営農販売、購買サービスの提供、農産加工品の商品開発・販売